

平成16年9月定例会運営日割

月 日	曜	時 間	会 議 名	備 考
9月 1日	水	9:30	議会運営委員会	議案等上程説明聴取
		10:00	本 会 議	
2日	木			休 会 (議案等質疑通告正午まで)
3日	金	9:30	議会運営委員会	議案等質疑
		10:00	本 会 議	一部議決 委員会付託
4日	土			休 会
5日	日	9:00	環境・災害対策特別委員会	(神奈川県・藤沢市合同総合防災訓練実施状況の視察)
6日	月	9:30	建設常任委員会	
7日	火	9:30	民生常任委員会	
8日	水	9:30	文教常任委員会	
9日	木	9:30	総務常任委員会	
10日	金	9:30	議会運営委員会	
11日	土			休 会
12日	日			休 会
13日	月			休 会
14日	火	9:30	議会運営委員会	常任委員会等報告・議決
		10:00	本 会 議	一般質問
15日	水	9:30	議会運営委員会	一般質問
		10:00	本 会 議	
16日	木	9:30	議会運営委員会	一般質問
		10:00	本 会 議	
17日	金	9:30	議会運営委員会	一般質問 平成15年度決算上程説明・出資法人 経営状況報告聴取 決算特別委員の氏名報告(17時まで)
		10:00	本 会 議	
18日	土			休 会
19日	日			休 会
20日	月			休 会 (敬老の日)
21日	火			休 会 (決算・出資法人経営状況 質疑通告正午まで)

22日	水	9:30	議会運営委員会	決算・出資法人経営状況質疑 決算特別委員会設置、付託
		10:00	本 会 議	
		本会議終了後	決算特別委員会	
23日	木			休 会 (秋分の日)
24日	金	9:30	決算特別委員会	
25日	土			休 会
26日	日			休 会
27日	月	9:30	決算特別委員会	
28日	火	9:30	決算特別委員会	
29日	水	9:30	決算特別委員会	
30日	木	13:30	決算特別委員会	
10月 1日	金			休 会
2日	土			休 会
3日	日			休 会
10月 4日	月	9:30	議会運営委員会	決算特別委員会報告・議決 追加議案上程説明・議決
		10:00	本 会 議	
		本会議終了後	議会報編集委員会	

会 告 示 ・ 議 案 説 明 会
 期 間
 会 期 を 決 め る 議 会 運 営 委 員 会

9月 1日 ~ 10月 4日 34日間
 8月25日(水) 午前9時30分
 8月27日(金) 午後2時30分

一 般 質 問 通 告 期 間
 一 般 質 問 面 談 期 間
 請 願 締 切 日
 陳 情 締 切 日

8月20日(金) ~ 8月27日(金) 正午まで
 通 告 の 翌 日 ~ 9月 2日(木)
 8月27日(金) 正午まで
 9月 1日(水) 午後5時まで

藤 沢 市 議 会 会 派 別 名 簿

(平成16年3月19日現在)

会 派 名	氏 名
日本共産党藤沢市議会議員団	加藤 なを子 ○柳 沢 潤 次
神奈川ネットワーク運動・藤沢	植 木 裕 子
市 政 市 民 派 会 議	真 野 喜美子
2 1 社 ・ 民 C L U B	伊 藤 喜 文 高 橋 八 一 古 橋 宏 造 柳 田 秀 憲
藤 沢 市 公 明 党	大 塚 洋 子 大 野 美 紀 大 塚 本 昌 紀 増 井 秀 夫 松 下 賢 一 郎 村 上 悌 介
市 民 の 党	原 田 建
藤 沢 新 政 会	石 井 博 海老根 靖 典 国 松 誠 熊 倉 旨 宏 栗 原 義 夫 河 野 顕 子 佐 賀 和 樹 鈴 木 明 夫 諏 訪 間 春 雄 橋 本 美 知 子 広 田 忠 男 二 上 喬 保 谷 秀 樹 松 長 泰 幸 矢 島 豊 海 山 口 幸 雄 吉 田 信 行 渡 辺 光 雄
ひ と つ の 志	有 賀 正 義 井 手 拓 也 原 輝 雄 三 野 由 美 子

(会派名は結成届出順、氏名は五十音順、○印は会派代表者)

藤沢市議会役員等名簿

(H16.5.21)

議長	国松 誠	副議長	大塚 洋子
----	------	-----	-------

監査委員	高橋 八一	広田 忠男
------	-------	-------

(常任委員会)

区分	総務	民生	建設	文教
委員長 副委員長	保谷 秀樹 高橋 八一	大松 野美 長泰 紀幸	伊藤 喜文 熊倉 旨宏	橋本 美知 三野 由美子
委員 " " " " "	原田 建次 柳沢 潤輝 原賀 和洋 佐塚 靖典 大海 根島 豊	真野 喜美子 井手 拓也 柳田 秀憲 渡辺 光雄 諏訪 春忠 広塚 昌男 二上 紀喬	加藤 藤子 有植 賀木 石井 上原 村栗 田 栗吉	古山 橋宏 山松 口幸 増野 下賢 河野 井松 河野 木 顕 鈴木 野 明 河野 夫 誠 河野 子 夫

(特別委員会)

区分	行政改革等	環境・災害対策	都市整備
委員長 副委員長	諏訪 春雄 古橋 宏造	渡辺 光雄 有賀 正義	増井 秀夫 佐賀 和樹
委員 " " " " " " "	柳井 潤次 三野 拓也 熊倉 由美 松長 宏 高山 幸一 山松 賢一 大河 洋 河野 顕 河野 子	原真 建子 真橋 美知 伊藤 喜文 保石 喜樹 塚谷 昌博 村上 昌博 原上 義夫 木 明 夫	加藤 藤子 原柳 田文 植木 田樹 植田 野博 広野 松紀 大海 老根 誠 二吉 上 典 河野 田 信 行

区分	議会運営委員会
委員長 副委員長	鈴木 明夫 松下 賢一郎
委員 " " " " "	井熊 拓也 高倉 八 佐賀 和 広田 忠 石塚 昌 栗原 義夫

(規程に基づく委員会)

区分	議会報編集委員会
委員長 副委員長	山塚 幸雄 口本 昌紀
委員 " " " " "	三野 由美子 松長 泰幸 柳田 秀憲 渡辺 光雄 増井 秀夫 河野 顕夫 河野 子 河野 喬 河野 海

各委員会の委員の任期は、平成16年5月21日から平成17年5月20日までです。

教 育 長 報 告
2004年(平成16年)10月8日

文 教 常 任 委 員 会 日 程

日時 平成16年9月8日(水)
午前9時30分
場所 議会委員会室

- 1 陳情16第31号 35人以下学級の早期実現を求める陳情
= 趣旨不了承 =
- 2 陳情16第32号 教育予算の拡充を求める陳情
= 趣旨不了承 =
- 3 報 告(1) 平成17年度使用小学校用教科用図書の採択結果について



35人以下学級の早期実現を求める陳情

陳情趣旨

私たちは子どもたち一人一人が大切にされ、ゆきとどいた教育を受けられるよう心から願っています。今、少人数学級の実現は、子ども、父母、教職員をはじめ多くの市民が待ち望んでいます。2004年度、全国42道府県で少人数学級が実現され、藤沢でも小学校2校の1年生が35人学級になり、父母に喜ばれています。

「一日中、先生から一度も声をかけてもらえなかった。」とさみしい思いをしている低学年の子どもたち。高学年では、自分をみつめる大切な時に、心と身体の変化にともなう葛藤や、かかえている問題、トラブルなどを相談したいのに、「先生は忙しすぎて頼れない。」と子どもたちの声があがっています。8月27日、文部科学省が公表した「生徒指導上の諸問題の現状」調査によると、2003年度に公立小・中・高校で、校内暴力、いじめが増加していることがわかりました。実態はもっと多いと思われていますが、小学校での校内暴力が3割もの大幅増になっていることが大変気になるところです。また、学級崩壊までいかぬまでも、先生たちの努力や父母・地域の協力でやっともちこたえているという状況もあります。一刻もはやい手だてが必要です。

クラスを小さくすることで解決できる面も多々あると思われています。いまや少人数学級は世界の常識です。また、少人数学級の教育効果は、世界でも日本でも認められています。アメリカの研究で「グラス・スミス曲線」と呼ばれるものでも科学的に証明されています。政府のとっている少人数授業での対応については、たとえば小学校で、授業によってグループや先生がかわると、学級内の子ども同士のつながりにくさや、担任との関係が希薄になることが危惧されます。とくに低学年の子どもたちには、担任とのつながりが大切です。学級規模を小さくすることがもつとも理にかなっていると私たちは考えます。

憲法・教育基本法・子どもの権利条約にそって、どの子にもゆたかな、ゆとりある教育が保障されるよう、貴議会としてご配慮くださいますよう陳情いたします。

陳情項目

- 1. 藤沢市内すべての小中学校で少人数学級をめざし、当面、まだ35人以上の学級編成の小学校1年生から35人以下学級を実現してください。

2004年9月 日 新日本婦人の会藤沢支部
支部長 渡辺 慈子
藤沢市藤沢1049
TEL 26-1980

藤沢市議会 議長
国松 誠 様



教育予算の拡充を求める陳情

陳情趣旨

^{時/夜}新婦人は創立以来子どものしあわせを願い活動してきました。

政府は福祉、教育を中心に地方自治体に対する国の補助金、負担金を大幅に削減しようとしています。

今、学校では授業で使う紙なども予算が少なく裏紙などで節約したり教室にかけてあるカーテンなども保護者が自宅で洗ったりしています。またトイレの悪臭や壁の汚れなども直したくても直せなく教職員が修理しているようすも見られます。また学校行事で使う市民会館使用料は保護者負担になっていますが本来なら市が負担するものではないでしょうか。

財政が厳しい中ですが未来を担う子どもたちのために十分な学校教育予算をとっていただくよう陳情いたします

陳情項目

- 一、学校教育予算の拡充をしてください。

2004年⁹月 1日 新日本婦人の会 藤沢支部
支部長 渡辺 結子
藤沢市藤沢1049 大矢ビル2F

☎ 26-1980

藤沢市議会 議長

国松 誠 様

平成16年9月藤沢市議会定例会一般質問一覧表

番号	質問者氏名	件名	要旨	細目
2	伊藤 喜文	3. 住み良いまちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年の健全な育成について <p>【答弁者】 中村教育長</p>	全国的に少年犯罪が多発しているが、少年犯罪の認識と本市の現状、及び学校での取組について 青少年の健全な育成を目的に、家庭、学校、地域の連携いわゆる三者連携事業と青少年育成協議会の事業があります。三者連携と青少年育成協議会の役割と連携についてお尋ねしたい。また三者連携事業について、スタートして概ね3年が経過し、この間の総括と今後の青少年行政(三者連携及び青少年協議会)の事業展開についてお尋ねしたい。
3	石井 博	1. 社交ダンスの公共施設使用について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多目的ホール、体育室などを社交ダンスの練習として使用することについて <p>【答弁者】 西山生涯学習部長</p>	公民館体育施設における試行状況について 近隣市町での施設利用状況について 建築年数の古い建物を使用することについて 学校体育館の社交ダンス利用について
4	大野 美紀	1. 子どもを健やかに育む施策について	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニート対策について 	ニートの実態について 中学校の総合的な学習の時間における「職業体験学習」についてどのように考えているか
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育カウンセラーについて <p>【答弁者】 小野教育総務部長</p>	文部科学省は平成16年8月20日、臨床心理士らが幼稚園を巡回し、幼稚園教諭や保護者の子育て相談に応じる「保育カウンセラー制度」を創設する方針を決めたが、本市における「保育カウンセラー制度」についての見解を伺いたい。
6	橋本美知子		<ul style="list-style-type: none"> ・ 白浜養護学校に学童クラブの設置について 	障害児学童クラブの設置について現段階でどの様に考えているか
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯対策について <p>【答弁者】 山本市長</p>	本市では防犯対策事業を重点施策の1つとして、ボランティアやさすまたの配備や防犯ブザー等実施してきたが、具体的にはどの様なことを行ってきたか セキュリティーシステムの学校への配備状況とこれまでの使用状況を知りたい。 小学校低学年児童に対して、防犯ブザーの使用法の指導徹底についてどの様に行われているか それに伴い保護者や地域の方々へ周知はどの様になっているか 一般市民向けに貸し出している防犯ブザーの紛失・故障及び未回収への対応はどの様になっているか
9	三野由美子	2. 藤沢市の刊行物について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有償刊行物の活用について 	有償刊行物は、どこで頒布しているのか。また、郵送頒布の方法は。

番号	質問者氏名	件名	要旨	細目
9	三野由美子	2. 藤沢市の刊行物について	<ul style="list-style-type: none"> 有償刊行物の活用について 【答弁者】 井上市民自治部長	有償刊行物を頒布するにあたっての規則・規制について 市民センター、公民館などの施設で有償刊行物を購入できるか。 市民ギャラリー高橋コレクション目録について 「みどりの江の島」の頒布について 有償刊行物を市内の書店でこうにゆうできるか。 有償刊行物のホームページによるPRについて
		3. 図書館について	<ul style="list-style-type: none"> 不明本発生防止とサービス向上について 【答弁者】 西山生涯学習部長	不明本の件数と防止対策、今後の対応について 図書館サービスへのICチップ導入についての研究状況とICチップに対する見解について
13	松下賢一郎	1. スポーツライフの推進について	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの体力向上について 【答弁者】 中村教育長	体力向上キャンペーンの成果について 放課後、土日の外遊びやスポーツなどの取組と効果について、また、学校教育の現場とスポーツ振興財団等の団体との連携について 校庭の芝生化に向けた研究状況と考え方について 運動部の設置状況と課題解決に向けた取組について (仮称)「スポーツ・健康手帳」の作成・配付についての考え方について
			<ul style="list-style-type: none"> ふじさわスポーツ元気プランについて 【答弁者】 西山生涯学習部長	生涯スポーツ活動の推進において、定期的実施するとしている意識調査の内容はどのようなものか、また、それに基づく多様なスポーツプログラムの策定期間はいつ頃を想定しているか スポーツ実施率向上を図る事業として、健康づくりスポーツ事業が計画されているが、具体的にどのようなものを考えているか 生涯スポーツ及び競技スポーツと学校体育との連携について、運動部活動に限らず学校体育全般への支援を考える必要があると思うが、見解を聞きたい スポーツ情報提供体制の充実として、各種スポーツ団体のホームページ開設支援を掲げているが、障害者スポーツ団体の情報提供についてはどのように考えているか
		2. 不登校支援策について	<ul style="list-style-type: none"> メンタルフレンドについて 【答弁者】 小野教育総務部長	メンタルフレンドの導入に向け、今後どのように取り組んでいこうと考えているのか。